



# 仲之

新宿区立牛込仲之小学校

## 星空を見上げて

副校長

「それでは、街と月の明かりを消しますね」  
解説の方の合図で、場内が真っ暗になりました。パッと明るくなると、ドームいっぱいの星空。「わあ」という歓声。4年生は仰向けになって見上げています。じっと見ていると、あまりの星の数に、目まいがしそうです。「星が動いて見えるね。でも動いているのは星たちじゃない。私たちの住んでいる地球なんだよ。」

新宿コズミックセンターの8階にあるプラネタリウムは、今年30周年を迎えるそうです。30年前は8階から、東京ドームや富士山がくっきり見えました。今はビルの陰に隠れて、その一部しか見えません。高いビルやマンションが周りを取り囲み、見える空の範囲は、より狭くなったようです。

オリオン座、おおいぬ座、おうし座など、ギリシャ神話とともに、冬の星座が語られました。星と星を結んでできる絵画が写し出され、新宿から見えない星や星座の物語を、子供たちは固唾を飲んで聞いていました。

2月の学校は、別れと出会いへの準備の期間でもあります。月末には、「6年生を送る会」があります。卒業を控えた6年生に向けて、1年生から5年生が、歌や劇やクイズなど、工夫を凝らして、6年生を送ります。縦割り班活動、委員会、クラブ、1年生のお世話など、今ある学校の明るく楽しい雰囲気をつくってくれたのは、6年生です。その感謝の気持ちをみんなで伝えます。体育館は、外の寒さと対照的な、子供たちの心がつくる温かさで、包み込まれることと思います。

プラネタリウムでは、「宇宙には、地球上にある砂浜や砂漠の砂の数の10倍の星がある」とも言っていました。「出会えた奇跡」という言葉があります。ドームからあふれるほど広がる、普段見えない星空は、それを実感させてくれました。学校や学年や学級の友達や先生、お世話になった方々へ、せいっぱいの感謝を言葉で伝え、今ある自分を大切に、みんなで成長していくことを、この季節に語っていきたいと思います。

## 縦割り班活動

縦割り班担当

縦割り班は、1年生から6年生が14班に分かれて交流をします。事前に6年生が、低学年から高学年のみんなが楽しく遊べる計画を立て、中心となって進めています。今年は校庭が使えなくなりましたが、教室や廊下では、ハンカチ落としや何でもバスケット、椅子取りゲーム、体育館ではおにごっこや大縄跳び、だるまさんがころんだなどの遊びをしています。

低学年は、上級生と協力して遊ぶ様子が見られます。高学年は、下級生のことを考えた言葉遣いをしたり、力を加減したりする様子が見られます。異なる学年で交流することは、相手の気持ちを想像し、行動するのにとても有効な機会です。

2月20日(金)には、お別れ給食と縦割り班遊びがあります。下級生から6年生へ、6年生から下級生へ、互いにこれまでの感謝の気持ちを伝えます。

## 日本語指導

日本語指導担当

本校では、韓国や中国など外国から来た児童も一緒に教室で勉強しています。日本語を習得し、学校生活や学習に、主体的に参加できるようになることを目指して、週に2～4時間程度、外国等から転入した児童に日本語指導を行っています。

あいさつや曜日、数字など、日常生活に必要な言葉の学習からスタートします。分かる言葉が増えるにつれて、昨日の出来事やクラスのことなどを話してくれるようになります。日本語指導では「伝わった」「分かってもらえた」という子どもの嬉しさに共感し、「ほめること」を大切にしています。

時には、意思の疎通が図れず、思いが伝えられないこともあります。そんな時は子供たちが互いの気持ちを理解できるよう、教員が仲立ちとなって、個々の言葉に丁寧に耳を傾けています。また、クラスの子供たちにも、言葉が分からないことの不安に気付かせ、温かい関係を築いていけるよう声をかけています。

互いの良さを認め合い、共に高めあっていける心を育てていきたいと願いながら、日々、子供たちと学習しています。

本校のホームページのQRコードです。ぜひ、アクセスして細かな情報、登校許可証のダウンロードなどにご活用ください。

